

2018年5月16日

**AVENTAGE 基準の高音質と臨場感を追求し、ネットワーク周辺機能も充実させた
Dolby Atmos[®]*1 & DTS:XTM*2 対応デュアル 7.1ch ネットワーク AV レシーバーの中級モデル 2 機種を新発売**

AVENTAGE ヤマハ AV レシーバー 『RX-A880』 『RX-A780』

ヤマハ株式会社は、フルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプやアンチレゾナンステクノロジーを導入した制振設計、独自のデュアル 7.1ch システムなどの採用によって高音質とリアルな臨場感を追求するとともに、ハイレゾ再生^{*3}や音楽配信サービスをはじめとするネットワーク周辺機能もさらに充実させた「AVENTAGE (アベンタージュ)」シリーズの Dolby Atmos[®] & DTS:XTM 対応デュアル 7.1ch ネットワーク AV レシーバー、『RX-A880』『RX-A780』の 2 機種を 5 月下旬より全国で発売いたします。

*1: Dolby Atmos[®] (ドルビーアトモス) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した 3 次元サラウンドフォーマット。

*2: DTS:XTM (ディーティエス エックス) = DTS 社が開発した 3 次元サラウンドフォーマット。

*3: DSD 11.2MHz、WAV/AIFF 192kHz/32bit (32bit float ファイルには非対応)、FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit をサポート。

AVENTAGE

AVENTAGE は、音・臨場感・操作性の色褪せない本質を追求するヤマハのハイクラス AV コンポーネントシリーズです。いつまでも飽きの来ないナチュラルな音質と優れた操作性、独自のシネマ DSP 技術に裏付けられた圧倒的な臨場感を、ヤマハのクラフトマンシップによって実現しています。

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-A880	(H)チタン	110,000円(税抜)	4,000台	5月下旬
AVレシーバー	RX-A780	(H)チタン、(B)ブラック	88,000円(税抜)	10,000台	5月下旬

<製品概要>

今回発売する『RX-A880』『RX-A780』は、フルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプや D.O.P.G. (DAC on Pure Ground) コンセプト、アンチレゾナンステクノロジーを導入した制振設計など AVENTAGE 基準の高音質設計を踏襲し、3 次元サラウンドフォーマットの Dolby Atmos[®] および DTS:XTM に対応したデコーダーも搭載した「AVENTAGE」シリーズのデュアル 7.1ch ネットワーク AV レシーバーです。DSD 11.2MHz や WAV/AIFF 192kHz/32bit^{*1} をサポートするハイレゾ再生、高品位音楽配信サービス「Deezer HiFi」(ディーザー ハイファイ) への対応、5GHz 帯/2.4GHz 帯に対応した Wi-Fi の搭載などネットワーク周辺機能を充実させるとともに、Dolby VisionTM*2 や Hybrid Log-Gamma^{*3} などの HDR^{*4} 映像伝送、BT.2020^{*5} 規格、HDCP2.2^{*6}、4K/60p^{*7} 映像信号、eARC^{*8} に対応した HDMI 端子も装備し、最新の 4K 映像ソースも画質を損なうことなく再生できます。加えて、独自の音場創生技術「シネマ DSP」や室内の音響特性を本質的に改善するマルチポイント計測^{*9} 対応 YPAO-R.S.C.、入力信号に応じてフロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーが自動的に切り替わるデュアル 7.1ch システムなどにより、さまざまなプログラムソースや設置環境で比類のない臨場感を実現します。

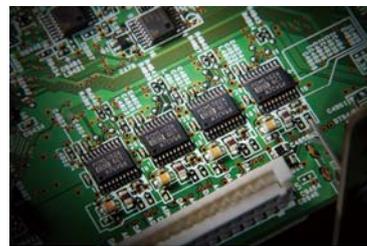
*1: 32bit float ファイルには非対応。 *2: Dolby VisionTM (ドルビービジョン) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した HDR 技術。 *3: Hybrid Log-Gamma (ハイブリッドログガンマ) = NHK と英国 BBC が共同提案する HDR 方式。 *4: HDR (ハイダイナミックレンジ) 映像伝送 = 従来よりも幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。 *5: BT.2020 = ITU-R 勧告に定められた Ultra HDTV (4K/8K) の色域規格。 *6: HDCP2.2 = 4K 映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。 *7: 4K/60p = 4K (4,096 × 2,160 画素) の解像度を持つ映像を、1 秒間に 60 コマで表示すること。 *8: eARC = テレビと本機とを 1 本の HDMI ケーブルで接続し、テレビに入力されたロスレス音声やオブジェクトオーディオを含むテレビ側音声を本機へ伝送できる機能。 ※ファームウェア更新により対応予定。 *9: RX-A880 のみ対応。

<主な特長>

1. フルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプなど AVENTAGE 基準の高音質設計

「AVENTAGE」の上級シリーズと共通の基本設計による定格出力 130W/ch のフルディスクリート構成 7ch 低歪パワーアンプ、オーディオ入力部と D/A コンバーター部の電位差を解消して微小信号の再生品位を高める D.O.P.G. (DAC on Pure Ground) コンセプト、デジタル系/映像系/表示系をアナログオーディオ系から独立させた 4 回路分離パワーサプライ、独自のアンチレゾナンステクノロジーを導入した制振設計(アンチレゾナンスレッグ 4 脚+ (5 番目の脚))、バーブラウン 384kHz/32bit* D/A コンバーターなど、AVENTAGE 基準の高音質設計を踏襲しました。さらに、ローム社と共同開発したヤマハオリジナルの高精度ボリューム素子やルビコン社と共同開発したヤマハオリジナルの PML コンデンサーなどの採用により、高い解像度と、明瞭で自然な音の表現力を獲得しています。

*:再生可能なファイルフォーマットは最大 192kHz/32bit です(DSD 除く)。



バーブラウン384kHz/32bit* D/Aコンバーター

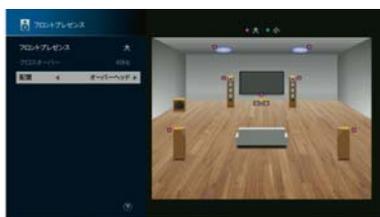
2. 「Dolby Atmos®」&「DTS:X™」対応デコーダーを搭載

Dolby Atmos®(ドルビーアトモス)と DTS:X™、ふたつの 3 次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のあらゆる位置に定位または移動させ、3 次元的な音響空間を創り上げることのできるこの技術への対応により、リアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。5.1.2ch スピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーは「フロントハイト」、「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の 3 パターンから選択できます。また DTS:X™ 再生時には「DTS ダイアログコントロール*」でセリフ音量の単独調整も可能です。

*:本機能は DTS ダイアログコントロール対応の DTS:X™ コンテンツ再生時に限り有効です。



「フロントハイト」設定画面例



「オーバーヘッド」設定画面例



「ドルビーイネーブルドスピーカー」設定画面例

3. DSD 11.2MHz & WAV/AIFF 192kHz/32bit もサポートするハイレゾ再生や

「Deezer HiFi」対応など、さらに充実したネットワーク周辺機能

本機のハイレゾ音楽再生は DSD 11.2MHz、WAV/AIFF 192kHz/32bit*¹、FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit を幅広くサポートします。また、約 3,600 万曲を CD 相当 (FLAC 44.1kHz/16bit) の高音質でストリーミング聴取できる高品位音楽配信サービス「Deezer HiFi」*²、IP サイマルラジオ配信サービス「radiko.jp」*³に対応したほか、音楽配信サービス「Spotify」(スポティファイ)のストリーミング聴取も「Spotify Connect」*⁴(スポティファイ コネクト)機能を利用して便利に楽しめます。さらに内蔵 Wi-Fi は 5GHz 帯/2.4GHz 帯に対応し、外部機器との接続時に音声の遅延を抑えて快適なワイヤレス音楽再生を実現しています。

*1:32bit float ファイルには非対応。

*2:Deezer HiFi は月額制の有料サービスで、利用には別途契約が必要です。また本機で Deezer HiFi を聴取するには、ヤマハが提供する操作アプリ「MusicCast CONTROLLER」(無償)のインストールが必要です。

*3:radiko.jp (無料のエリア内聴取)と radiko.jp プレミアム(有料のエリアフリー聴取)に対応。使用には「MusicCast CONTROLLER」アプリのインストール、およびプレミアム会員登録(radiko.jp プレミアム利用時のみ)が必要です。

*4:Spotify Connect の利用には Spotify アプリ(無料)のインストールと Spotify Premium アカウント(有料)への登録が必要です。



4. HDR、BT.2020、 HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子

HDR 映像伝送や BT.2020 映像伝送、HDCP2.2、4K/60p 4:4:4 映像信号のパススルー/4K アップスケーリングに対応する 7 入力/2 出力 (RX-A880) または 5 入力/2 出力 (RX-A780) の HDMI 端子を装備しました。映像の色域とダイナミックレンジを大幅に拡大して華やかな色彩や豊かなディテールを再現する高画質化技術「Dolby Vision™」、放送局が推奨する HDR 方式「Hybrid Log-Gamma」、これまでのオーディオリターンチャンネル (ARC) 機能をベースにロスレス音声やオブジェクトオーディオも伝送可能とした eARC* にも対応し、Ultra HD Blu-ray プレーヤーなど複数の対応機器を接続して画質を損なうことなく楽しめます。

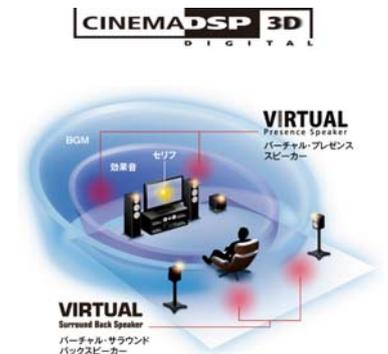
*:ファームウェア更新により対応予定。



5. 独自のシネマ DSP とデュアル 7.1ch システム、YPAO-R.S.C. などにより、設置環境にかかわらず圧倒的な臨場感を実現

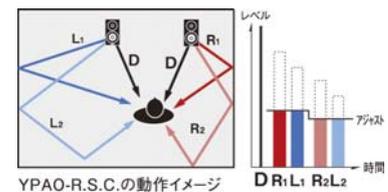
●独自のデュアル 7.1ch システムが可能にする多彩なサラウンド再生

ヤマハ独自の音場創生技術「シネマ DSP」を活かし、映画や音楽、テレビ放送、ゲームなどさまざまなソースに合わせて最適化した 17 種類のサラウンドプログラムを搭載しました。独自のデュアル 7.1ch システムにより、フロントプレゼンススピーカーを使用したシネマ DSP (3D モード) の 7.1ch 再生と、サラウンドバックスピーカーを使用した 7.1ch 再生とをフロントプレゼンス/サラウンドバックスピーカーの自動切り替えによって完全再生するほか、実際のスピーカーが接続されない場合に仮想のプレゼンススピーカーをリスニング空間へ生成する「バーチャル・プレゼンススピーカー」機能と、同じく仮想のサラウンドバックスピーカーを生成する「バーチャル・サラウンドバックスピーカー」機能も装備し、通常の 5.1ch スピーカー構成でも最大 9.1ch 相当のシネマ DSP (3D モード) 再生を可能にします。



●シネマ DSP の効果を最大限に引き出す視聴環境最適化システム「YPAO」

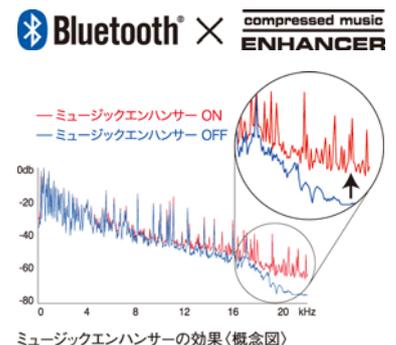
本機に搭載の視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer) には通常の自動補正機能に加えて、調整精度をより高める次のような付属機能を装備し、シネマ DSP の効果を最大限に引き出します。
①室内の初期反射音を積極的に制御して左右スピーカーの設置環境の違いによる音質・音場の偏りなども補正する「YPAO-R.S.C.」(Reflected Sound Control)。
②最大 8 地点での計測結果を解析して音質・音場補正に反映させる「マルチポイント計測」(RX-A880 のみ)。
③これらの計測結果に基づいて設定音量に応じた均一なサウンドバランスを保つ「YPAO Volume」。
④3 次元サラウンド再生に特に有効な「サブウーファー調整対応パラメトリック EQ」。



室内の壁や床からの不規則な初期反射音はオーディオ (シアター) 再生に悪影響を及ぼす原因のひとつです。YPAO-R.S.C. は左右のスピーカーの設置環境が異なる場所での不規則な初期反射音 (左図) をデジタル音場処理技術で補正 (右図) し、よりバランスの整った視聴空間をつくり出す事ができます。

6. Bluetooth 4.2 規格に準拠した AAC 対応 Bluetooth®オーディオ受信機能と、音を豊かにするミュージックエンハンサー

内蔵の Bluetooth®オーディオ受信機能は新たに Bluetooth 4.2 規格に準拠し、スマートフォンやタブレットなど外部機器の音声を、遅延を抑えて快適に聴けるようになりました。音声コーデックは標準の SBC のほか高音質の AAC フォーマットにも対応しており、ヤマハ独自の Bluetooth®対応ミュージックエンハンサーと組み合わせることで Bluetooth®の圧縮音声をより魅力的なサウンドで蘇らせます。



【RX-A880/A780 その他の特長・機能】●フロント USB&アナログ音声入力端子●デジタル音声入力信号の精度を高めるロージッターPLL回路●YPAOの計測結果に基づいて音場効果を最適化し、よりリアルなシアターサウンドを再現するDSPエフェクトノーマライゼーション●サラウンドスピーカーを含む5.1chスピーカーすべてをフロント側に設置して5.1chサラウンドが楽しめるバーチャルシネマフロント●サラウンドスピーカーを使用しない2.0ch～3.1chスピーカー構成でも豊かな臨場感が得られるバーチャルシネマ DSP●セリフの位置(高さ)と音量を単独で調整できるダイアログリフト&レベル調整●ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生(DSDを除く)●メインスピーカーにコンパクトスピーカーを使用する場合やサブウーファーなしのシステムでも力強く躍動感のある低音を再現するExtra Bass(エクストラベース)●再生音量に応じてDSP効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られるA-DSP技術●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめるA-DRC技術●音声信号経路を最短化して入力ソースの音をありのままに再現するピュアダイレクトモード●40局プリセット対応ワイドFM/AMチューナー●ブックマーク&オートプレイ対応インターネットラジオ機能●よく使う映像ソースや音場プログラムの組み合わせを呼び出したり、テレビやレコーダーを連動して起動できるSCENEボタン●AV CONTROLLERアプリ対応●MusicCast[®](ミュージックキャスト)対応●本機とネットワーク接続したMusicCast[®]対応機器の電源を本機と連動してオン/オフできるMusicCast Link電源連動●本機の配線・設定作業をサポートする専用アプリ「AV SETUP GUIDE」対応●キッチンや寝室などの別室に置いたスピーカーでメインゾーンと同じ、または異なるオーディオソースを楽しめるゾーン2出力(スピーカー出力またはRCAライン出力に対応)●HDMI接続した他社製テレビ/レコーダーとの連動を実現するリンク機能(対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください)●HDフロント&アイコンによるGUI画面を採用した多言語対応OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)●ヘアライン仕上げアルミフロントパネル●前面端子類を内側に収めてスタイリッシュな外観を実現するアルミ製前面カバー(RX-A880)●アルミ製ボリュームノブ/セレクターノブ(RX-A880)●ヘルプキーの装備などにより直感的な操作・設定を実現する新デザインのワイヤレスリモコンを付属●ECOモード、オートスタンバイ機能などにより業界最高水準の省電力を実現●5年間の長期製品保証(RX-A880)



HDフロント&アイコンによるGUI画面を採用した多言語対応OSD



ヘルプキー

ヘルプキーの装備などにより直感的な操作・設定を実現する新デザインのワイヤレスリモコン

<RX-A880/A780 主な仕様>

型番		RX-A880	RX-A780
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	100W/ch (6Ω、0.06% THD)	95W/ch (6Ω、0.06% THD)
	1kHz、1ch 駆動	130W/ch (6Ω、0.9% THD)	130W/ch (6Ω、0.9% THD)
実用最大出力 (JEITA)	1kHz、1ch 駆動	160W/ch (6Ω、10% THD)	160W/ch (6Ω、10% THD)
内蔵パワーアンプ数		7	7
音声入力端子	アナログ	5 系統:ステレオ RCA 4(Phono 入力含む)、ステレオミニ 1	
	デジタル	4 系統:光 2、同軸 2	
音声入力端子(その他)		2 系統:USB 1、ネットワーク(Ethernet) 1	
映像入力端子		2 系統:コンポネント 1、コンボジット 1	
音声出力端子	スピーカー出力	7ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R [Bi-AMP、Zone2 兼用]、フロントプレゼンス [Zone2 兼用])	7ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R [Bi-AMP、Zone2 兼用]、フロントプレゼンス [Zone2 兼用])
	PRE OUT	7.1ch (サブウーファーは MONO×2)	2.1ch (サブウーファーは MONO×2)
	その他	ヘッドホン 1、ZONE 2 OUT 1	
HDMI 端子 入力/出力		7 入力/2 出力 (HDCP2.2 に対応)	5 入力/2 出力 (HDCP2.2 に対応)
HDMI バススルー		4K/60p 4:4:4、BT.2020、HDR (HDR10、Dolby Vision [™] 、Hybrid Log-Gamma)	
シネマ DSP プログラム数		17	
オブジェクトオーディオ対応		Dolby Atmos [®] /DTS:X [™] 対応	
Bluetooth [®] 再生方式(受信)	バージョン	Ver.4.2	
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP	
	対応コーデック	SBC/AAC	
ネットワーク 関連機能	Wi-Fi	○(2.4GHz/5GHz IEEE802.11 a/b/g/n/ac 準拠) ※IEEE802.11ac は 20MHz チャンネル帯域幅のみ	
	対応音声フォーマット (USB、サーバー)	DSD 11.2Mz、Apple Lossless 96kHz/24bit、WAV/AIFF 192kHz/32bit (32bit float ファイルは非対応)、FLAC 192kHz/24bit、MP3/WMA/MPEG4-AAC 48kHz/24bit	
	ギャップレス再生	○(WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF に対応)	
	AirPlay	○	
	機器連携	○(MusicCast [®] 機能)	
ストリーミングサービス	○(radiko、Spotify Connect、Deezer HiFi 対応)		
チューナー		AM/FM(ワイド FM 対応)	
アプリ操作		AV CONTROLLER/MusicCast CONTROLLER	
消費電力		360W	
待機時消費電力		0.1W (HDMI コントロール OFF/スタンバイスルーOFF 時)	
		2.0W (ネットワークスタンバイ ON/HDMI コントロール ON/スタンバイスルーON 時)	
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×171H×382D mm	435W×171H×380D mm
		(Wi-Fi アンテナ直立時:435W×248H×382D mm)	(Wi-Fi アンテナ直立時:435W×248H×380D mm)
質量		11.0kg	
付属品		リモコン、単4 乾電池(2本)、AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO 用マイク、電源コード、取扱説明書、スタートアップガイド	



前面カバーオープン時



ヤマハ AV レシーバー 『RX-A880』 カラー:(H)チタン

本体価格 110,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-a880/index.html



ヤマハ AV レシーバー 『RX-A780』 カラー:(H)チタン/(B)ブラック

本体価格 88,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-a780/index.html

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

佐藤、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/

(取材申し込みや画像ダウンロードが可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)